

口は健康のもと Vol.124

入れ歯があわなくなった原因は顎のやせ細り

虫歯や歯周病などで歯を失うと、食べ物がよくかめなかったり発音がうまくできなくなることがあります。多くの方は、食事や会話に支障が出るようになって歯科医院を受診し、ブリッジ、入れ歯もしくはインプラントなどの治療を受けます。治療を受けた方は歯医者さんからこのように言われたことがあるでしょう。「ブリッジやインプラントは入れたら入れっぱなし、入れ歯を作ったら作りっぱなしではいけません。定期的に来院してメンテナンスを受けましょう」と。

私たちの体は絶えず作り変えられ、入れ替わっています。顎の骨も例外ではありません。歯を失うと歯を支える「歯槽骨（しそうこつ）」という骨が吸収して、場合によっては顎の骨全体がやせ細ってしまいます。やせ細った骨から顎の神経が口の中に露出し、これに入れ歯が当たって痛みが出ることさえあります。骨の形が変わるわけですから、骨の形に合うように入れ歯を直す必要があります。

入れ歯が合わなくなったとお気づきの方は、かかりつけの歯科医院を受診することをお勧めします。



奥羽大学歯学部附属病院

放射線科 准教授 原田 卓哉

